



クローズアップ会員企業

移動販売を開始

(株)いちやまマート



とくし丸＝篤志丸
篤志＝志のあつこと。特に、
社会事業や公共の福祉などに
熱心に協力すること。また、
その心や、そのさま。



当所議員の(株)いちやまマート(代表取締役 三科雅嗣氏)は、創業から半世紀(55年)を経て、設立当初から支え続けてくれた地域のお客様に対し恩返しをしたいという気持ちと、地域貢献という観点から、昨年9月より、自宅近くに店舗が無く買物に困っている高齢者等向けに移動販売を始めている。事業実施にあたり、活用しているのは、同社がフランチャイズ契約を結ぶ徳島県の移動販売コンサルタント会社「とくし丸」のシステムだ。

「とくし丸」は、高齢化や人口減少などの影響で、店が撤退する地区が増えていることや、高齢のために自動車が運転できない等の理由で遠くの街まで出かけることが困難に感じる人々が多くなってきていることから、買物弱者600万人の時代と言われている日本の現状を打破するべく始まった事業である。

事業内容としては、委託する個人事業主がその地域の顧客を週2回ずつ巡回する。戸別販売ではなく、顧客の敷地に停車する移動販売車は近所の人たちも利用できる。販売車の荷台の両側面の棚には弁当、総菜、生鮮食品など最大400品目の商品が並べられている。

昨年から店舗がある長野県諏訪市で本サービスを始め、今年の3月には県内で初めてとなる山梨市で実施した。現在は、北杜市での開業(7月中旬オープン予定)に向け準備を進めている。今回取材させていただいた、販売企画室 課長 古屋正秀氏によると、開業までにとくし丸利用宅を探す(開拓訪問)など、準備期間として3～4ヶ月掛かるという。時間は費やすがその分本当に困っている買い物弱者を開拓できるとのこと。

一方、販売だけでなく、とくし丸の「命を守る」「食を守る」という基本理念に基づき、市町村・警察と「見守り協定」を結んでいるため、常時、高齢の利用者の安全確認について見守り、異変などに気づいた場合は、市や警察などに連絡するシステムになっている。

また、「売りすぎない」「捨てさせない」という観点から、時には売り止めを行うなどして地域のスーパーマーケットとしての役割も果たしている。

古屋氏は、「あくまでもとくし丸は、利益目的ではなく、地域貢献を目的としています。とくし丸を通じてご近所の方とふれあい、コミュニケーションが図れることも大きな魅力です。」と話す。(株)いちやまマートでは、高齢者に優しく地域の見守り役として、今後も多くのお客様が求めるニーズに対応し、様々なサービスを提供していく。

会社概要

(株)いちやまマート 代表取締役 三科雅嗣
中央市若宮50-1 TEL 055(278)6000 FAX 055(278)6012

2019年は甲府開府500年
2021年は信玄公生誕500年

甲府商工会議所だより 6
June.2017 No.740
The Kofu Chamber of Commerce and Industry Magazine



CONTENTS

創業100年企業に学ぶ
保高添工業所
伝統工業
甲州印伝 はか

こうろ開府500年記念特集 第二弾
近世甲府城下町の地名・緑町

甲府商工会議所では、9月29日まで
節電・軽装運動(クールビズ)を実施いたします。